

A dark blue map of a city grid with a white line and arrow indicating a route. The white line starts from the left side of the map, curves slightly upwards, then runs horizontally across the middle, and finally curves downwards and to the right, ending in a white arrowhead pointing towards the right. The background shows a detailed street grid and some irregular shapes representing parks or water bodies.

市民説明会 令和8年3月17日

旧敦賀港線利活用計画（案）

利活用コンセプト

敦賀の文化・生活を紡ぎ営む、地域のぬくもりに包まれたレールパーク

自然・環境

山海相依の豊かな自然を享受する



- 自然の保全と活用
- グレーインフラからグリーンインフラ等環境への配慮
- 敦賀固有の風景の保全、周囲の自然や街並みと調和した景観形成

歴史・文化

敦賀固有の歴史文化的資源の活用を図る



- 鉄道遺産の活用や港町の景の継承
- 産業、水産業、伝統工芸
- 寺社と祭事など地元の文化と連携した空間づくり

生活・自治

地域と共にみんなで育てる



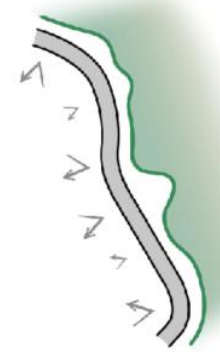
- 日常における利用の促進
- 市民のウェルビーイングに寄与する安全で快適な空間
- 持続可能な維持管理、運営体制の確立と地域連携

市内既存動線との相乗効果、回遊動線の促進

3 拠点と接続し、まちと自然を繋ぐ「8」の字の回遊動線の形成

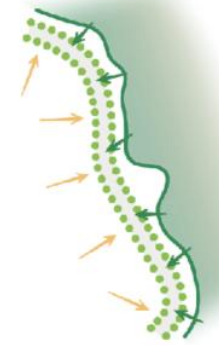
(駅前・氣比神宮・金ヶ崎)

BEFORE



1: 廃線敷は街の産業遺産である一方、取り残され天筒山の自然と市街地を分断

「東西接続」の創出



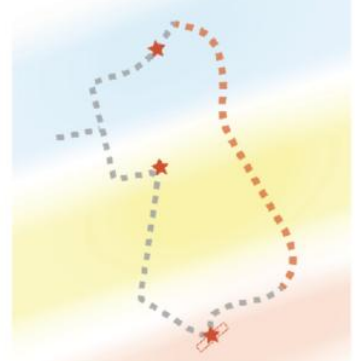
2: 廃線敷を天筒山と市街地それぞれに対し東西に開放

AFTER



3: 廃線敷を介して天筒山の自然が市街地へ拡張する緑の骨格形成とともに人の流れを創出

BEFORE



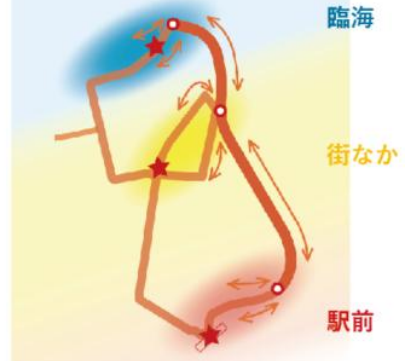
★ 現在の拠点 1: 中心市街地(東側)における繋がりがたりや連携が欠如

「南北動線」の創出



2: 全体を繋ぐレールを整備、南北バリアフリー動線の確保とともに活動を支える各エリアの拠点を設置

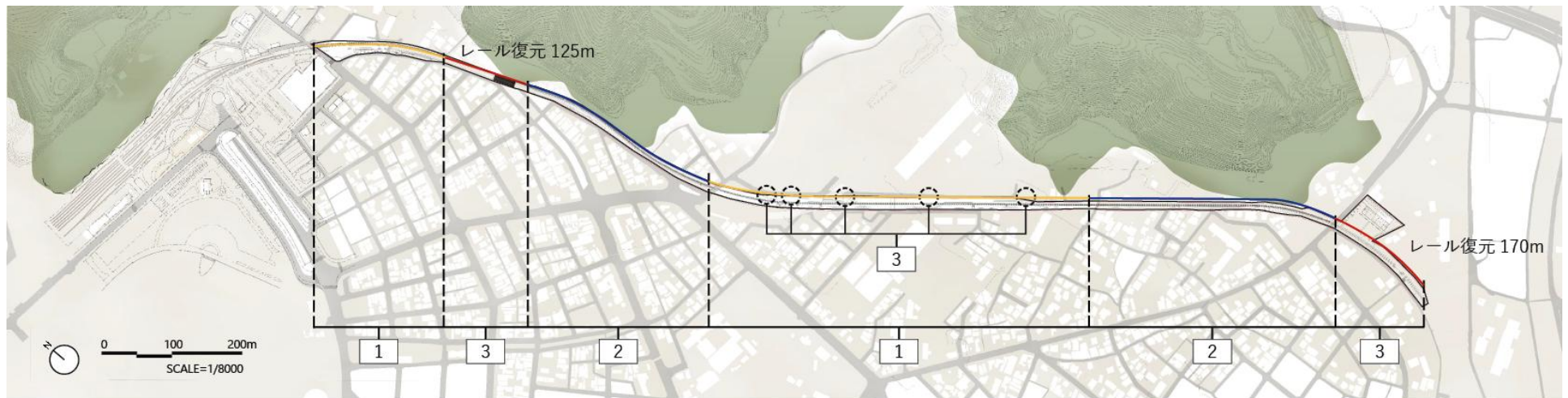
AFTER

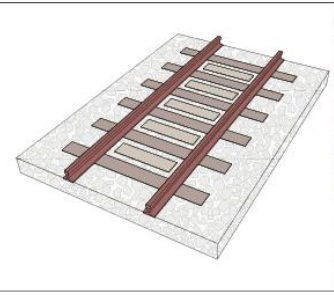


3: 既存資源を含む各エリアが接続され、既存街路と連続する回遊動線の好循環が8の字状に創出

レール保全・活用のイメージ

原則すべて保存し、保存方法は主に3パターン

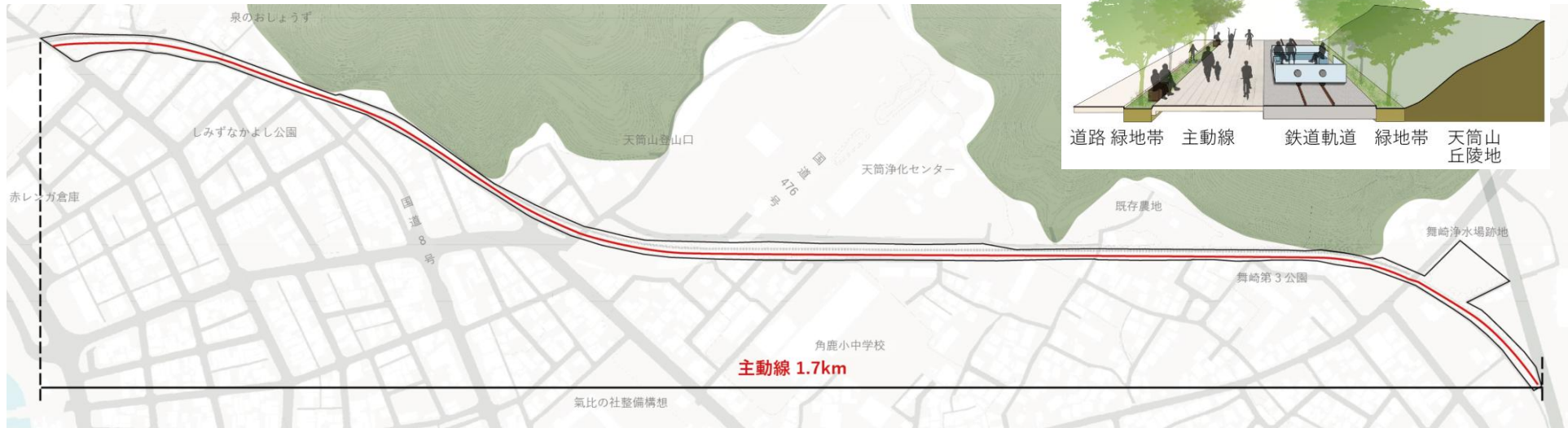
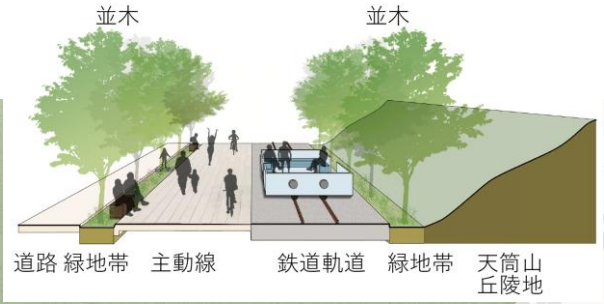


| 1 現状継承 | 2 飛び石 | 3 舗装 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■レール、枕木、バラストは現状維持。 ■枕木の間は緑化（ノシバ等）する。 | <ul style="list-style-type: none"> ■幅員が狭く、散策路として設定する箇所に設置。 ■枕木の間に飛び石等敷設し、歩きやすくする。 | <ul style="list-style-type: none"> ■レールを復元する箇所と、線路とサブ動線が交差する箇所に設置。 ■PC平板等を敷設し、平坦なしつらえにする。 |
|   |   |   |

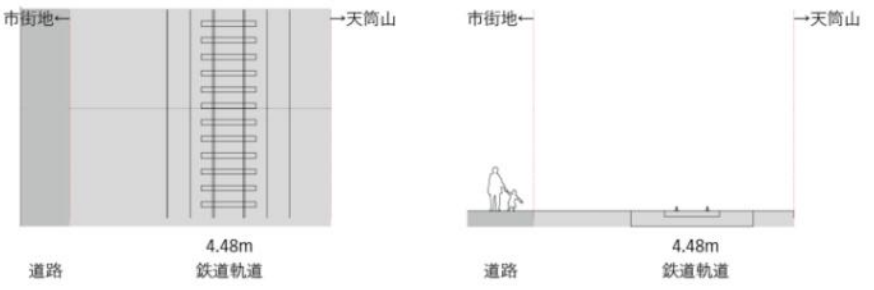
南北動線とレール保全・活用

南北に敷地全体を貫く主動線とレール、緑地帯・並木を配置

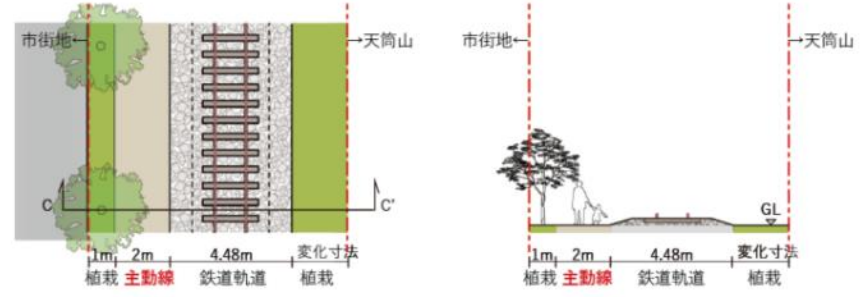
南北に敷地全体を貫く要素



現況



計画



敷地全体における原風景の継承と新たな風景



←→ 主動線

↔ モビリティ

● 広場などでのイベント・活動



京春線森の道
韓国, ソウル
近代産業文化遺産の線路をそのまま残した公園。昔の列車を近くで眺めたり散策路で散歩を楽しむ等都心の中にいながら潤いのある澄んだ空気を五感で味わう。



江村レールパーク
韓国, ソウル
旅客鉄道廃線後の活用。山々や田園風景を満喫しながら約6kmを走行可能。



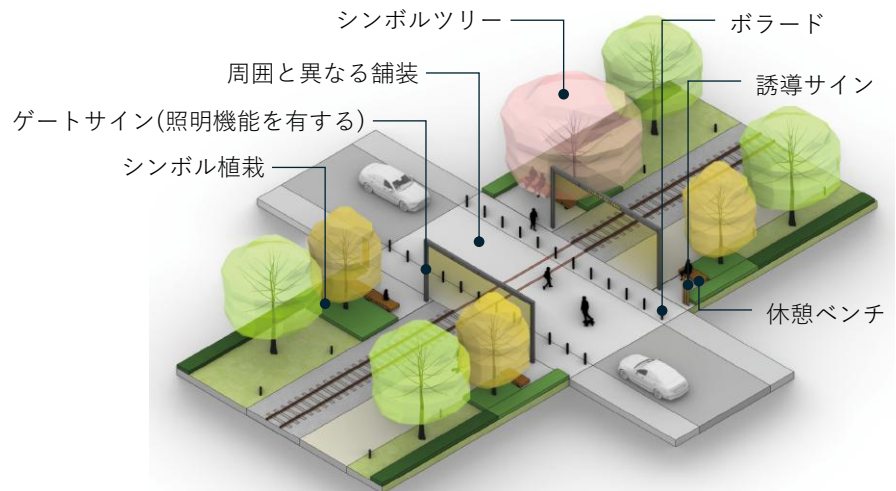
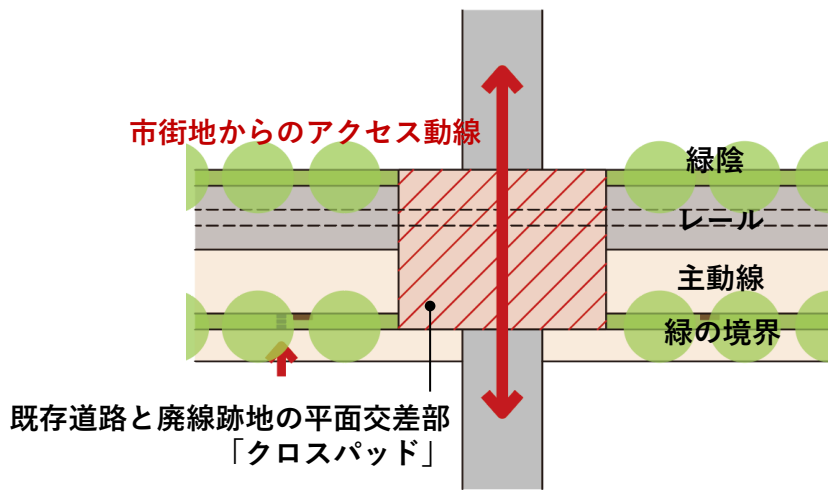
Prairie Logic
アメリカ, カンザスシティ
Percent for Art Programの一貫としてアーティストが制作。パフォーマンスやコミュニティ活動、周辺のオフィスワーカーの休息の場などとして利用可能。



Arobory Bar & Eatery
オーストラリア, メルボルン
メルボルンの中心部において主要駅と川の間の細長い敷地に整備された終日営業の屋外バー兼飲食店。川のほとりで風景を楽しみながら過ごせる空間。

交差部（クロスパッド）

道路との交差部を安全に処理しながら、東西方向の接続性を確保



5つのラインと3つの広場

それぞれの地域文脈（地形・周辺環境）に応じた特徴的な使い方を検討



金ヶ崎ライン
 港エリアの歴史・文化を体感する空間

お祭り

マルシェ

曙ライン
 文化イベント、周辺住民の安らぎ・憩いの場

自然散策

トンネル映画祭

天筒ライン
 多様な活動や遊びの受け皿となる空間

コミュニティガーデン

ポケットパーク

角鹿ライン
 環境学習、植栽基盤を提供する緑の帯状空間

市民農園

自然教室

舞崎ライン
 市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

芝生広場

まちの休憩場所

3つの広場と周辺エリアとの関係性

市街地との結節点となり、ゾーンごとの活動を支える場として、廃線敷へのエントランスとしての役割を担う

うみまち広場

歴史文化資源と連携した回遊動線の拠点的形成し、連続性のある景観を創出。湧水を活用した親水空間の整備

まちなか広場

敷地幅が広く、東側が開けていることや高架道路の立体空間を利用し多様なアクティビティを柔軟に受け入れる

くさまち広場

人々の往来が多い場所でシェアサイクル等のハブとして整備しながら、まちに開き公園と一体化した整備



植樹計画

周辺の自然環境の保全と調和を図りながら、四季の移ろいを楽しむことができる植樹構成を検討



シンボル緑地

金ヶ崎や敦賀港と一体化した緑の拠点
桜並木

柳 松

雑木の小径

天筒山の緑が拡張する自然地帯
雑木林・夏

雑木林・秋

環境コリドー

既存の地形を活かした生態系空間
雨庭

ナチュラルスティックガーデン

地域の前庭

周辺緑地と連携し、地域と育てる庭
果木

竹

緑の玄関口

エントランス空間を形成する並木
イチヨウ並木

モミジ

多様な滞留空間の創出



①
ハイライン
 アメリカ、ニューヨーク
 川に向けた眺望がよい区間にあり足を伸ばして寛ぐことのできるレール上の可動式ベンチや、ナチュラルスティックガーデン沿いに複数設置され草花を近くで楽しめるベンチなど、自由に選べる多様な居場所が点在。



③
Sub Base Platypus
 オーストラリア、シドニー
 子どもが遊び大人と共に過ごせるレクリエーション空間への再整備。



④
 四季の植栽を楽しむだけでなく、緑の両側に座り寛ぐことができるベンチの機能も有する可動式花壇で滞留空間を構成。



⑤
Bonnet Springs Park
 アメリカ、フロリダ
 地域社会を豊かにすることを掲げ、住民・観光客に多様な自然文化学習やレクリエーションの機会を提供。

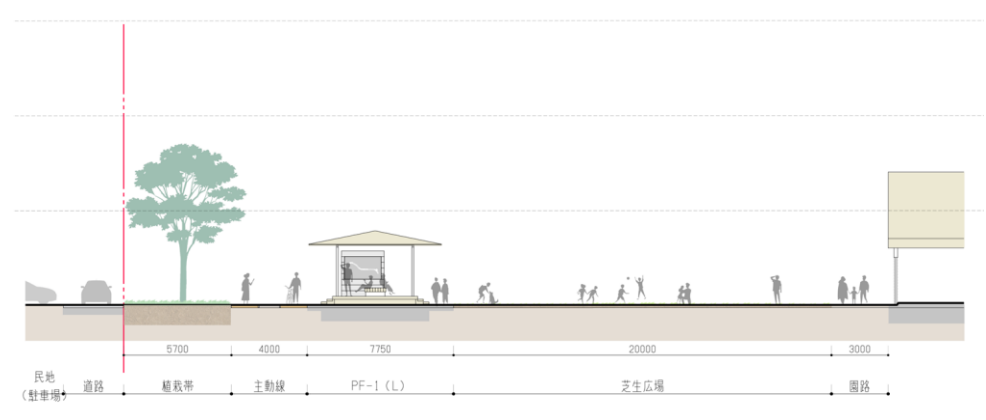
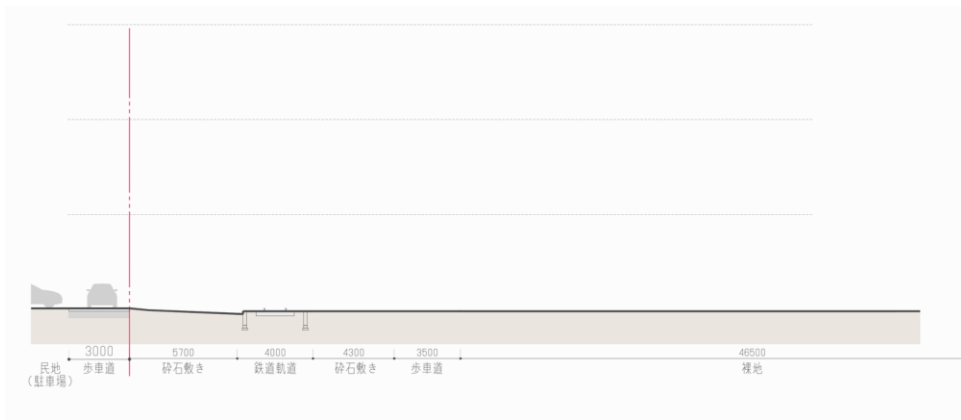
全体アクティビティマップ (5つのライン・3つの広場)



現況



整備方針



Before



After

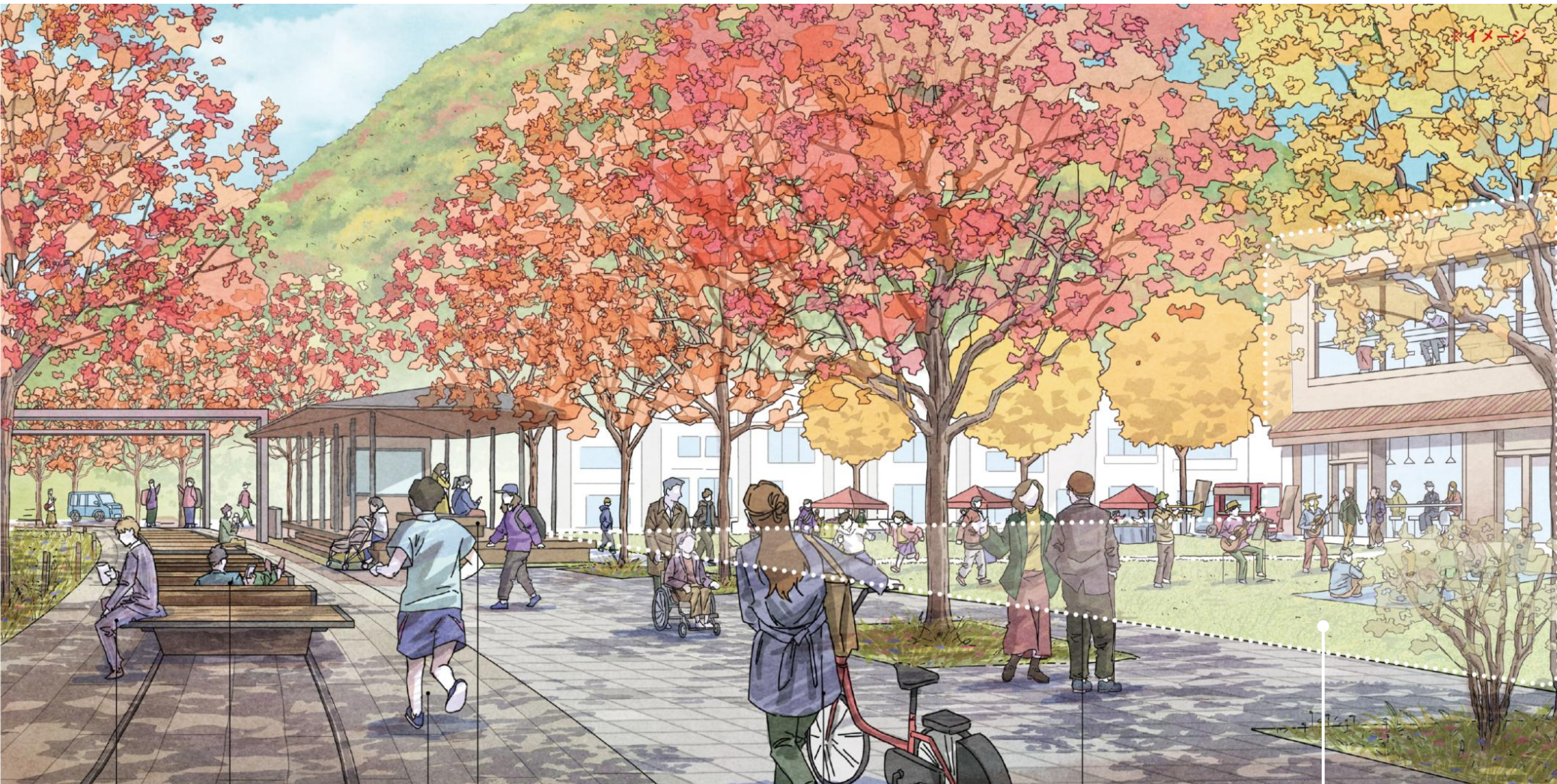


Key plan



くさまち広場はイメージのため、今後変更の可能性があります。

くさまち広場



昼休みに一息つく
サラリーマン

読書を楽しむ
お父さん

秋晴れの下ランニ
ングを楽しむお兄さん
プラットフォームで
休憩する観光客

買い物帰りの
お姉さん

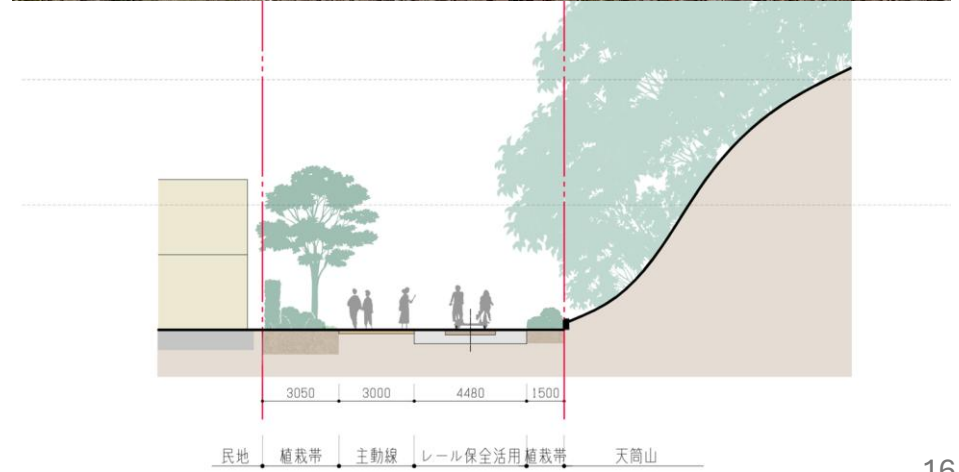
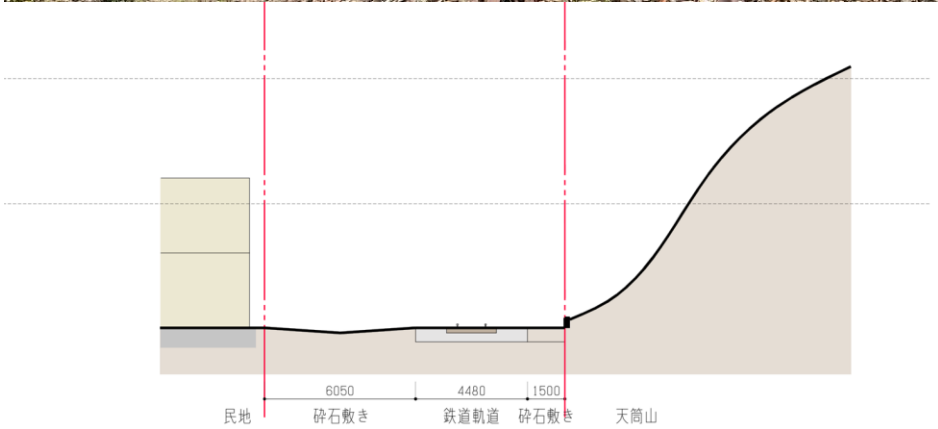
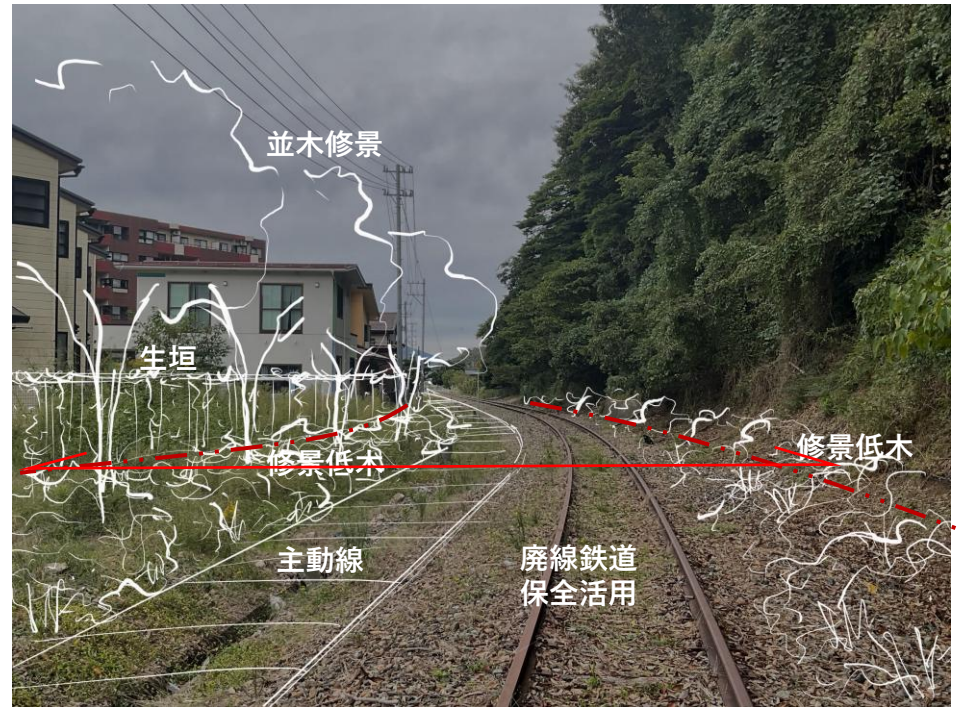
自然とはじまる
井戸端会議

くさまち広場はイメージのため、
今後変更の可能性があります。

現況



整備方針



Before



After



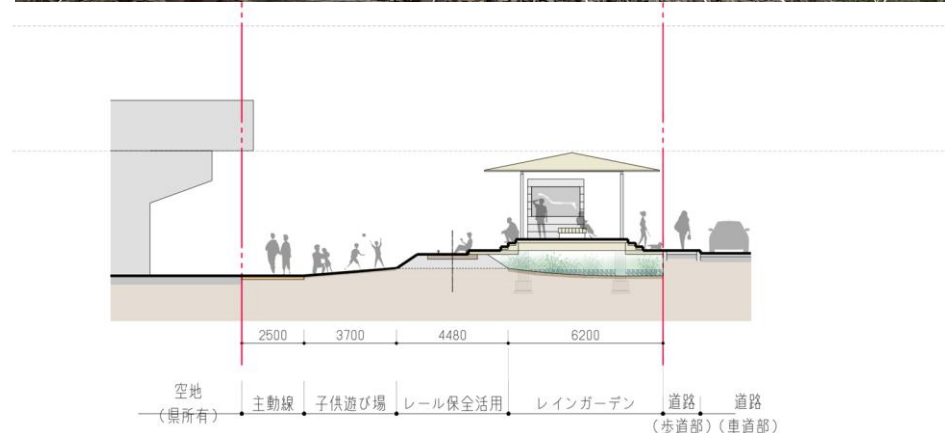
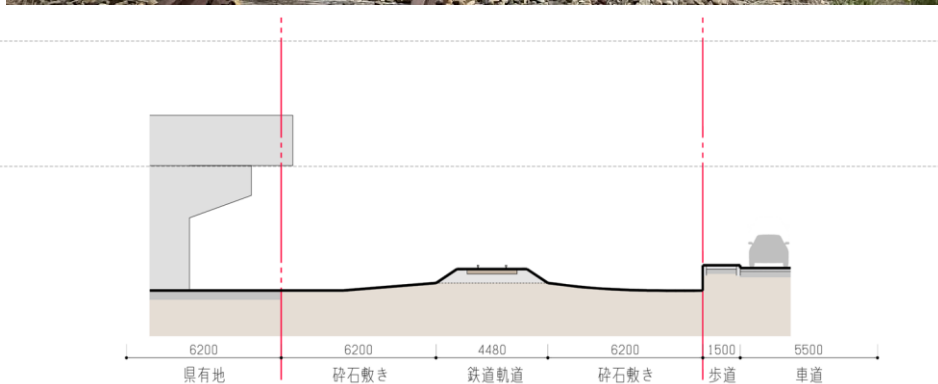
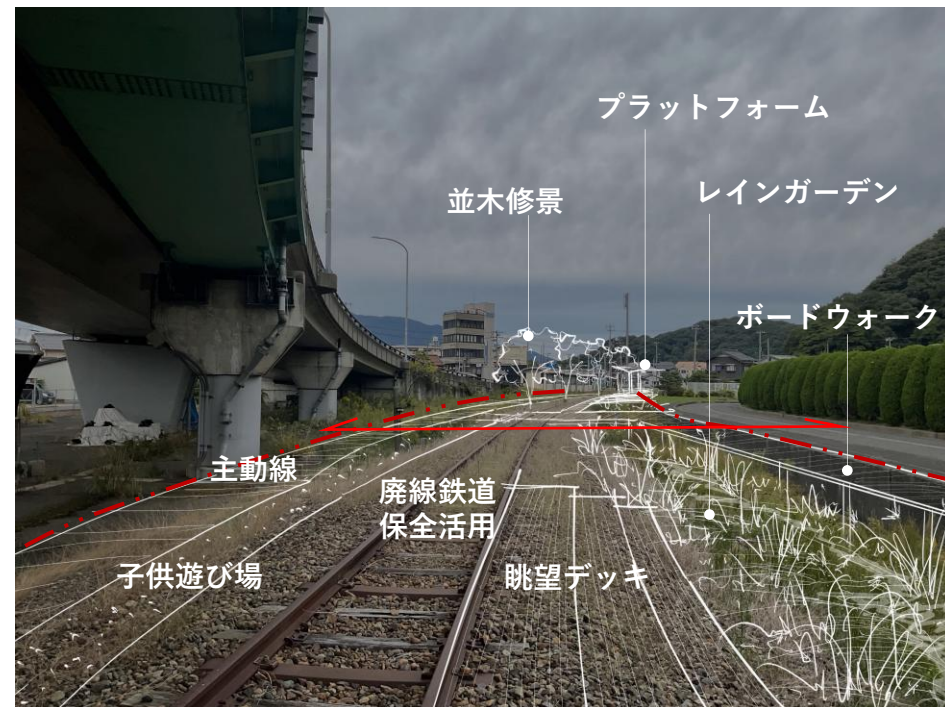
Key plan



現況



整備方針



Before



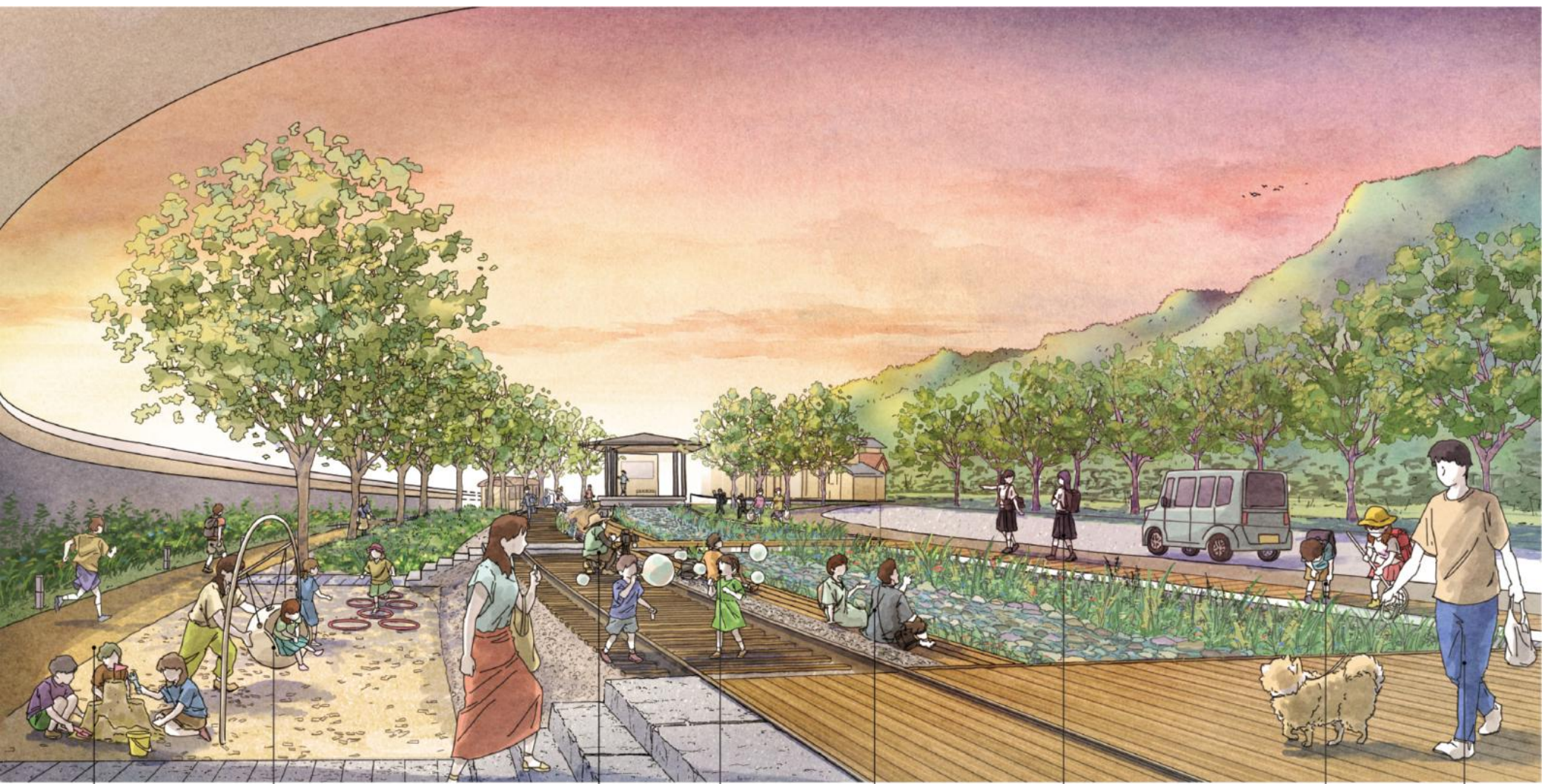
After



Key plan



まちなか広場

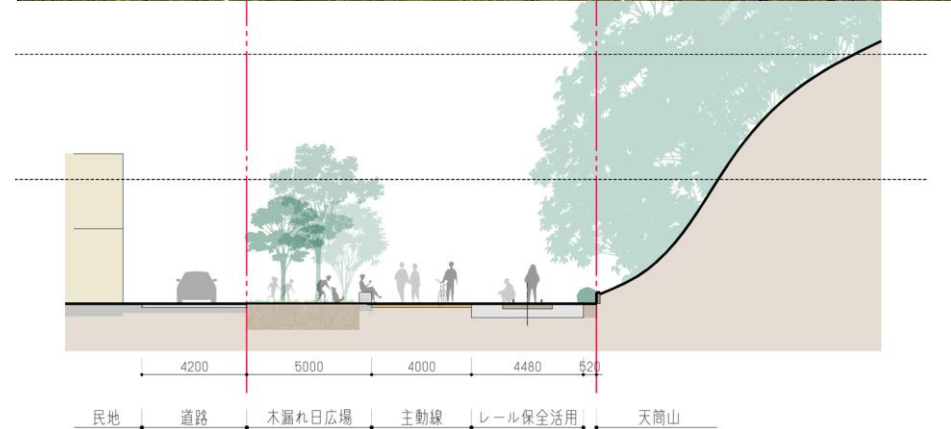
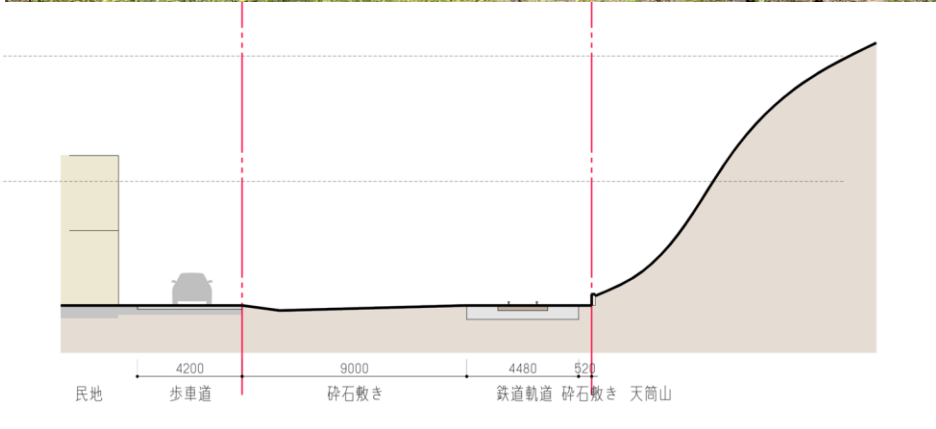
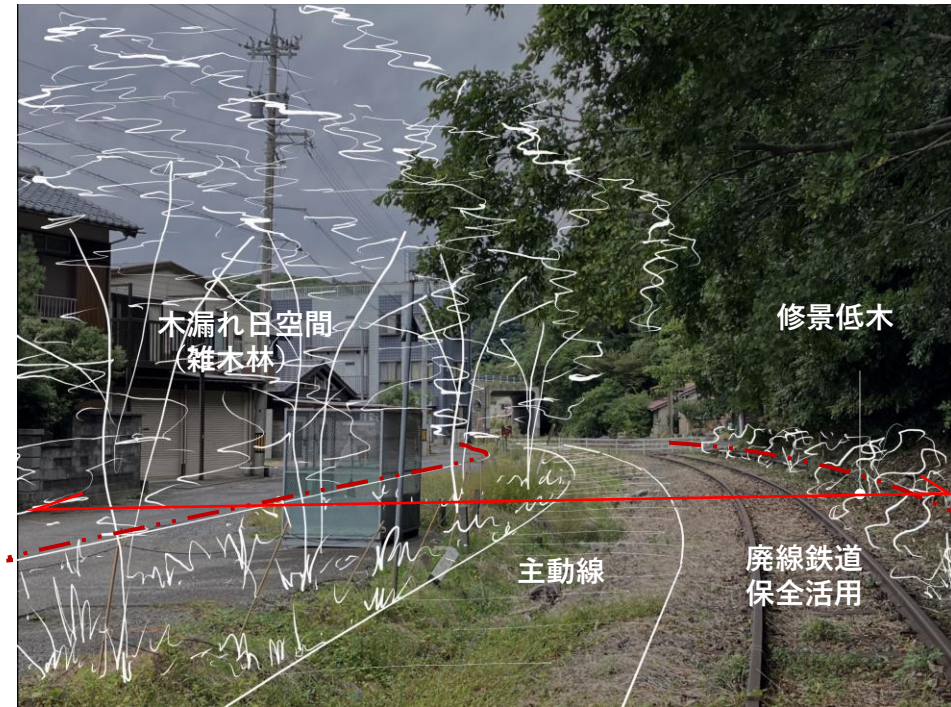


仕事終わりにランニングする近所の住民
お兄ちゃんお姉ちゃんの帰りを遊びながら待つ子どもと保護者
天筒山の夕景を撮影するカメラマン
天筒山を見て黄昏る人々
休憩しながら談笑する観光客
部活のことを話しながら帰宅する中学生
放課後レインガーデンで遊ぶ小学生
いつもの散歩コースを犬と歩く青年

現況



整備方針



Before



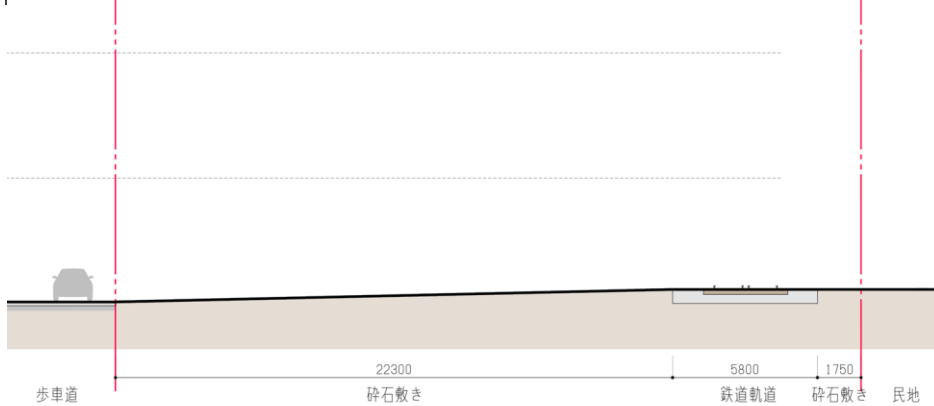
After



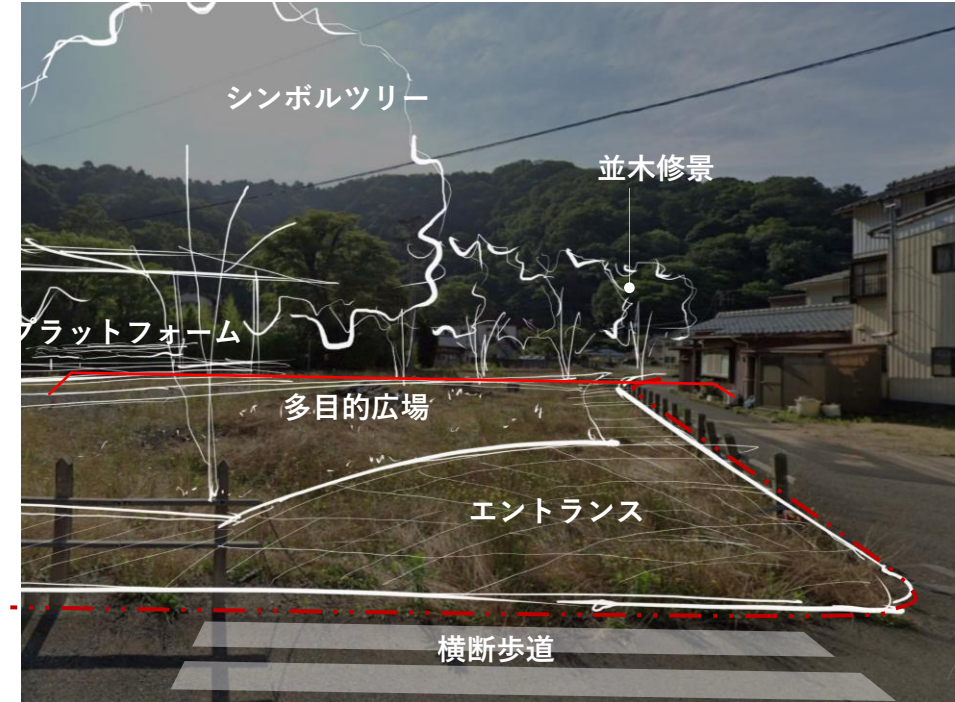
Key plan



現況



整備方針



Before



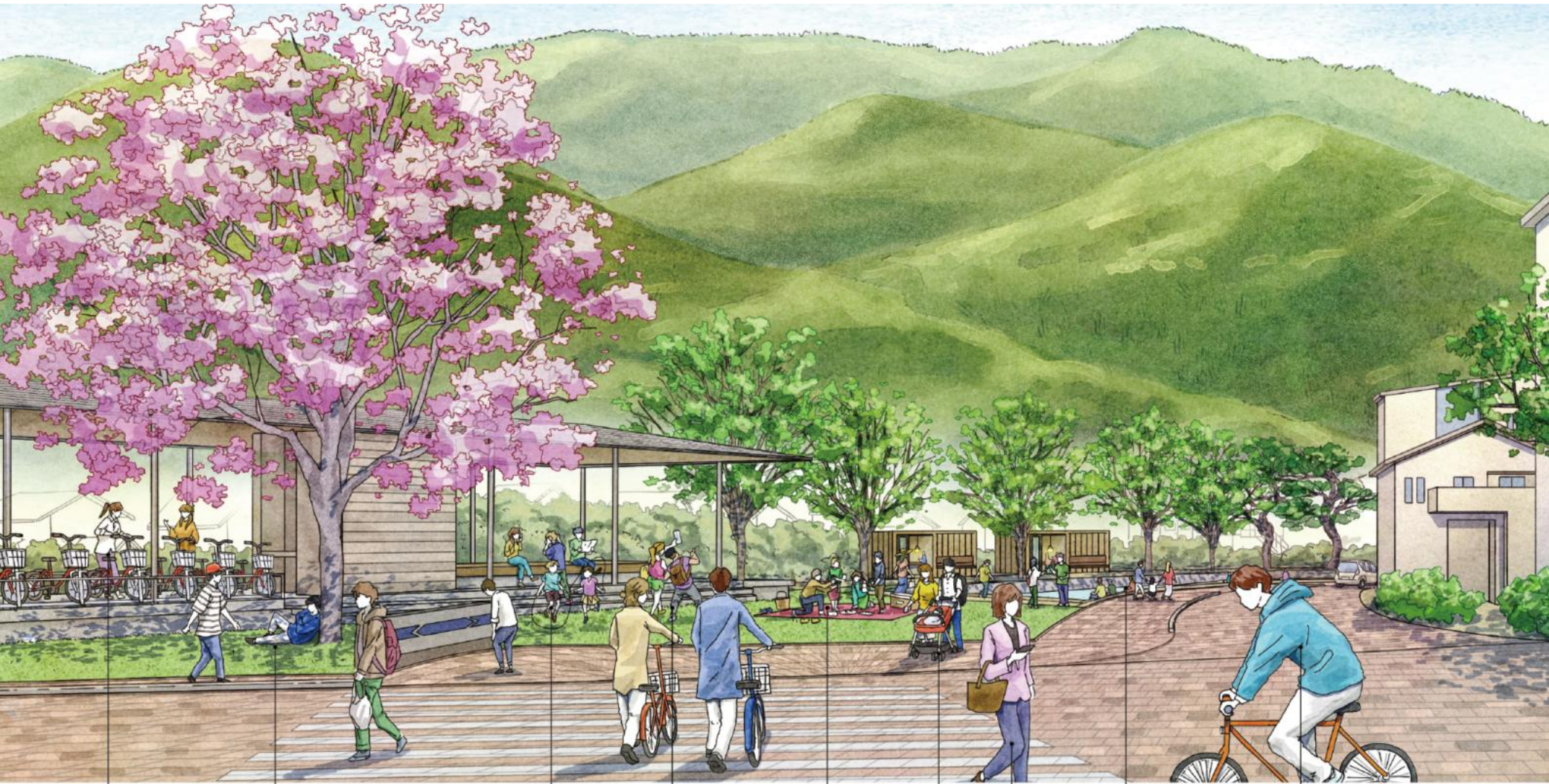
After



Key plan



うみまち広場



レンタサイクルで
市内を回遊する観光客

読書をしていたら心地よくなり
居眠りをしてしまった学生

自由に遊ぶ子ども
と見守る保護者

春の天筒山を写真
に収める観光客

お花見にきた
地元の友人・家族

散歩にきた地域住民

親水テラスで
涼を感じる人々

若狭湾を走ってきた
サイクリスト